



JGAPAPER

2019 Spring / Summer
2019年2月 発行 一般社団法人日本グルーデコ協会

Vol. 12



Voice

山岡まさえ

Masae Yamaoka

一般社団法人 日本ブルーデコ協会代表理事

自分が何者なのかを真正面から受け止める作業

1

くない、自分で封印していた過去の思い出も受け止めなくてはならなかったり、現在の自分の逃げたい課題にも向き合わなければならなかったりと、かなりハードな時間を過ごすこととなりました。本に書いているエピソードも実はちよつと心がギョツとなる事もありました。それでもそんな経験があったからこそ私の今があるということも、今回本を書く事によって実感することが出来ました。逃げずに自分と向き合おうと決めたから、過去の嫌な思い出も受け止められる自分に成長できました。そのような時間を過ごしていくうちに、本当に自分がやりたい事、すべきこと、今あるものをさらに大きく強固にするためには何をしなければいけないかなどが明確になっていきました。

新しい私の活動はさらなる自分自身を知る良い機会でもありました。

53歳という年齢でこのような大きなチャレンジが出来る機会を与えてくださったのは、もちろん出版社に企画書を持ち込んでくださった戸田美紀さんや本という形にして下さった出版社さん、そして、JGAの講師の皆様がいてくださったからだと感じしております。だからこそ本を出すだけでは終わらず、

その本を届ける努力をするために苦手なセミナーや講演活動にもチャレンジする決心が出来ました。この新しい私の活動はさらなる自分自身を知る良い機会でもありました。主婦の「当たり前」は社会の特別な事、求められる事、役に立つことです。主婦のスキルとマインド（主婦力）はいま社会に強く求められています。

助け合いながら相互で与え合うという、女性が受け入れやすく行動しやすい在り方

私自身がそうであるように、周りと比較せず、借り物ではない自分自身ができる事を深く考える事で見つかることが沢山あります。

今までのビジネスは競争や奪い合いといった男性的なイメージが強くなりましたが、今求められているのは、助け合いながら相互で与え合うという、女性が受け入れやすく行動しやすい在り方です。それは、JGAの理念である Input Output Share と同じです。自分の持つスキルを誰かの

ために役立て、人を成長させ育てていくことは女性が自分らしく起業できる方法ではないかと感じています。

この会報をお届けするのは3月なので、私は今まさに自分が出した本を多くの方々に届けるための出版イベントキャラバンの真つただ中です。実はこれを書いている今は、まだ出版されていないので、Amazonの予約キャンペーンの初日です。本を出すにあたり始めにしたことは、出版社に出す企画書作りからでした。出版をするという事の最初の仕事は自分の棚卸となりました。最後までお世話になったライター戸田美紀さん（今号からコラムを書いていたいただいております。）に相談しながら、私が何をしたいのか、何ができるのか、何をしたいのか。そして、自分が何者なのかを真正面から受け止める作業から始めました。そんな作業をしていく中で、思い出した

人生が二度ときめく主婦社長のすすめ

山岡まさえ 著

株式会社マガジンランド
本体1,296円+税(税込1,400円)

全国各書店にて
大好評発売中!!



Voice

atelier-kika

中本旭映

Asae Nakamoto

グルーデコ®認定講師



「こんにちはは認定講師です。」

atelierkika(アトリエキカ)の中本旭映です。大阪 八尾(丁R)のアトリエにてグルーデコ®レッスン、また、あべのキューズモール のABCクラフトの講師としてブランやレジンをを使ったアクセサリーの講習を行っています。

全ては自分の中で繋がっている

キラキラアクセサリーが好きではなかった私でしたが、型がなくても自由にオリジナル作品が作れ、アイデア次第でいろいろな表現が可能なグルーデコ®に興味を持ち、早くも約6年が経ちました。クラフト講師として、



2018年グルーデコアワード 受賞作品

トールペイント・コラーージュ・プランバン&レジン、彫金、ポリマークレイなどの多くの経験は、いろいろな作品のコラボを考え、実践できる事に活かされていると思います。また、映画や美術展はじめ、興味を持ったモノからインスパイアを受け、琴線に触れるモノとの出逢いが、多くのアイデアの引き出しを持つ事、全ては自分の中で繋がっていると実感します。

高いハードルでも新たな挑戦を！

2018年は私にとって、グルーデコアワードという名誉あるコンテストのメンバーとして参加でき特別賞を頂けた事、特にアパレル業界にいた私がコシノジュンコ先生に直接アドバイスを頂けたことは大変大きな出来事でした。またクリエイティブアスタイルコンテストでの受賞、JGAカレンダーにも作品掲載して頂いた事、大阪タカシマヤにイベント初出店で予想以上の反響を頂き、多くの方にも支えられた忙しくもやりがいのある実りの多い1年でした。お陰様でこの春には、新たなイベント出店のお話も頂き、高いハードルでも新たな挑戦を！と自分にプレッシャーを与えながら頑張っています。今後はもっと幅広くグルーデコ®とのコラボレーションアイテムも増やしながらか、私らしくこだわりのある作品作りを続けていけたらと思っています。



多彩なグルーデコの可能性を探る 美とデザインのコンペティション Gluedeco Award 2018 開催!

認定講師の技術力向上と、作品発表の場を目的として毎年開催されている「Gluedeco Award」。

3回目となる今回は「作る。進化する。」のフレーズの下、6月29日(金)にスワロフスキー・ジャパン(株)のショールームを審査会場に二次審査が行われ、10月26日(金)に南青山にあるコシノジュンコブティックにて、最終審査・授賞式が行われました。特別審査員のコシノジュンコ先生をはじめ、スワロフスキー・ジャパン(株)クリスタル部門アドバイザーのみなさん、JGA代表として山岡理事による厳正な審査の上、グランプリは2年連続の受賞となる富田由美さんに決定!そして、準グランプリは兵庫加代さん、佐藤睦美さんに決定しました。また、本来グランプリ1名、準グランプリ2名の予定

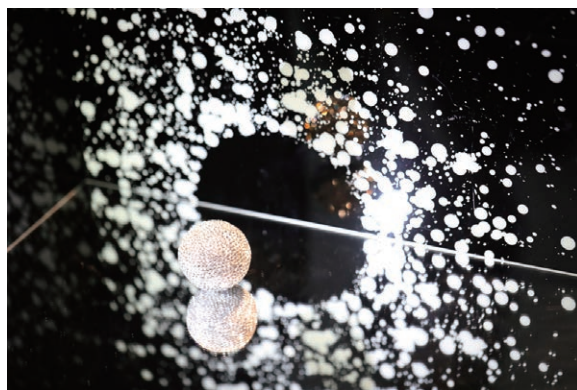
だったところ、作品の仕上がりがありにも素晴らしかったために、特別賞が設けられ、伊藤大介さん、中本旭映さん、中島由里加さんの3名が受賞しました。コシノ先生は、「皆さん、とても

素敵な作品ばかりで、特に応募作品83点の中から最終審査に選ばれた6点は選ぶのが本当に大変でした。今までのグルーデコ®のイメージに縛られない、可能性を感じました」とコメント。山岡も「二次審査、最終審査とジュンコ先生のアドバイスをもとに作品が進化したので、今回のアワードも大成功でした」と総括。コシノ先生のコメントにもあるように、さらなるグルーデコ®の未来と可能性を感じさせるアワードとして、大盛況のうちに幕を閉じました。



グランプリ

Brilliance f Science
煌(きらめき)舞う時空
富田由美



昨年グランプリを頂戴してから、応募するまでの間に、「去年を超えなければならぬ。進化しなければならぬ」というプレッシャーが大きかったです。もう私らしい作品で行こうと思っていて、宇宙をテーマとした作品にしました。そして、二次審査と最終審査の間には本当に色々なことを考え、作品を二から作り直して出品しました。2年連続で受賞させていただきましたが、今後もしっかりと目標を持ち、これを機にもっとと精進したいと思います。本当にありがとうございました。

〈受賞理由〉

連続受賞は本当にすばらしいですね。シンプルな作品ですが、星がずっと回転し続けるという発想が、グルーデコ®はこうでないといかないというルールはなく、どんなものでも作れると証明してくれました。グルーデコ®の可能性や将来性という意味ではとても素晴らしい作品だと思います。そしてアイデアだけでなく、完成度も高く、流行とは関係なく見ていて飽きないシンプルさが、とても価値の高い作品だと思います。

準グランプリ

The formation of a band アトリエ リリッサ 兵庫加代



最初は漠然と「バンド」をテーマに作品を作ったのですが、二次審査の際にコシノ先生から「ジャズバンドにしたら」とアドバイスをいただき、ジャズの楽器としてコントラバス、サククス、トランペットなどを作り直しました。黒人の方のボーカリストもボデイラインにもこだわって作ってみました。自分にはなかった発想でもとても新鮮で、作品としてのまとまりもできました。私は立体的な作品を作るのが好きなので、これからもさらに腕を磨いて行きたいです。

〈受賞理由〉

自分の世界をしっかりと持っていて、きちっとまとまった物を作っています。ものすごく細かい作業だったと思いますが、高度な技術で小さいトランペットやギターを作り、その世界観を表現できていると思います。

準グランプリ

兜~Kabuto~ 佐藤睦美



実は企画の段階で、実際に作れるか不安でした。複雑な形のため、特に「強度」が課題でしたが、壊れないように強度を上げることができました。コシノ先生からは土台を工夫するようにアドバイスをいただきました。私も悩んでいた部分でしたので、本当にストンと腑に落ちるコメントをいただきました。グランプリを逃して悔しいですが、また次回もチャレンジしたいと思っています。アイデアも技術も誰にも真似できないものを作っていけば、自分で満足できるものが作れると思うので、今後も頑張りたいと思います。

〈受賞理由〉

グルーデコは、和物から縁遠いものと思っていましたが、そういった固定観念から離れ、兜という日本の伝統的な、歴史のあるテーマに注目した点がすばらしいと思います。また、きちっとした作品を作るための技術力もなかなかのものだと思います。

特別賞

Fantastic Circus
~サーカスのポップアップ絵本~
中本旭映



コシノ先生に、二次審査のときにとても褒めていただいたのですが、予選から本選まで期間が長かったので、どこまで改善すればいいのかわからず、どんな要素を足していってしまっただけの反省点です。今回の賞を今後に生かして頑張りたいと思います。また次回もぜひ挑戦したいと思います。

特別賞

翔<show>
中島由里加



みなさん違う個性の作品ばかりで大変勉強になりました。作っているうちに、どんどん作品の要素が増えていってしまうので、コシノ先生もおっしゃっていましたが、そこから歩引いて、作品の内容を整理することも大切だと感じました。今回は、私もこんな特別賞をいただけると思ってなかったのですが、本当にうれしいです。これからの作品作りの糧にして頑張っていきたいと思います。

特別賞

Nature × Modern Design
伊藤大介



今回は特別賞をいただき、ありがとうございます。私は「人生はアドリブ」だと最近感じておりまして、作品についても自然の風景とかが見て、そこからアイデアが生まれてくることが多いです。二次審査の際にコシノ先生に「誰が身につけるものかを意識すること」などアイデアをいただきまして、それを参考にすることで、より作品の完成度が高まった気がします。今後も自然からヒントを得て、作品作りをしていきたいと思います。

〈山岡理事総評コメント〉

今年で3回目になりました。今年は第一次審査通過者6名にプロトタイプ作品を制作してもらい、その作品をジユンコ先生に見ていただき、アドバイスを受けて、さらに進化させたものを最終審査させていただきました。という形を取りました。私も先生と一緒に審査させていただきました。今回どの作品も内容がパワーアップし、問題点が改善されていたので、この企画は成功だったなとうれしく思っています。グランプリ、準グランプリの受賞者の方だけでなく、特別賞の方、そしてご応募いただいた全ての作品がすばらしかったです。

〈コシノ先生総評コメント〉

私は今回で審査をさせていただいたのが3年目ですが、グルーデコはどんどんレベルの高いものが出てきますね。すごい進歩だと思えます。最初のうちは、単なるアクセサリーじゃないの、なんて軽く思っていました。きちっとしたものや一人一人作られています。作品作りはやはりデザイン力がとても重要です。それは何を作るかという考え方や発想力で、みんなと違うことをやるのが大切だと思います。人とは違うものや、同じようなものを作るのではなくて、自分の世界観に挑戦していけば、二つは本当に小さな作業ですが、けれど、グルーデコで大きなことができると思います。また来年も参加することを楽しみにしています。

片山優子

Yuko Katayama

山岡まさえ

Masae Yamaoka

山岡まさえの
この人に会いたい

Interview

広告業界などでスタイリストとして活躍しておられた片山優子さん。結婚を機に専業主婦になり家庭に入られましたがお子様が小学校に入学されたタイミングで再びスタイリストとして復帰。その後スタイリングにとって必要なアクセサリーを自身の抜群のセンスで手作りをされたのをきっかけに、2009年にボタンを使ってコスチュームジュエリーを発表。「K O C H U K O C H U (コチュコチュ)」を立ち上げられました。片山さんの作られるアクセサリーは唯一無二の世界観があり、世界中のお洒落に敏感な人たちの注目を集めています。今回はそんな片山優子さんと対談をさせて頂き、主婦目線で山岡が片山優子さんに迫りました。

片山優子さん (K)
山岡まさえ (Y)

自分の視野が狭くなっているような気がした専業主婦時代

Y 片山さんはボタンで制作されるアクセサリーでとても有名な作家さんですが、ボタンを使ってアクセサリーを制作される前は何か他のアクセサリーを作られていたのですか？

K いえいえ、ずっとスタイリストをしていました。言葉は悪いですが「スタイリストバカ」でした(笑)だから、全くアクセサリー制作はしていませんでした。

スタイリストをしていて、結婚と同時に仕事をやめて専業主婦をしていました。

Y え!! ずっとお仕事をされているイメージでした。専業主婦の時代もあったんですね!

K 結婚して子供が生まれ、子供が小学校1年生になるまではずっと専業主婦をしていたのです。でも、その頃にいろんなことを習ったのですよ。

Y 編み物や洋裁もテニスもしていました。そうだったのですね!

K 私も同じように専業主婦時代に色々やっていたので親近感が湧きます。(笑)お子さんが小学校1年生になられた事有機にお仕事をされるきっかけはなんだったのですか？

K 実は、専業主婦をしていた時に、なんだか自分の視野が狭くなっているような気がしたのです。そんな時に業界の仲間から「うちのマネージメントをしてくださいませんか?」と声をかけてもらい、そこでマネージメントの仕事を始めて、その後34歳の時に独立してスタイリストやヘアメイクさんのマネージメントオフィス、有限会社クラージュを設立したのです。はじめはマネージメントだけをしていたのですが、求められてスタイリストとしても復帰したら、今度はそっちも忙しくなりました。

Y 専業主婦から起業する女性の大先輩じゃないですか!

専門学校の講師時代に生徒たちから学んだ7年間

K 実は専門学校の講師も7年ほどしていました。

Y えー！先生もされていたんですか!!

K そうです。その7年間で生徒たちから学んだことが今につながっていると思います。

Y どのようなことを学ばれたのですか？

K なぜかっていうと、18、19、20歳くらいの子って



クリエイティブを邪魔する既成概念を捨てよう



だけ既成概念を捨てようと思えるようになりました。

Y 専門学校の教え子である生徒さんたちから刺激をもらって、片山さんのクリエイター魂が刺激されたのですね(笑)

その他にも、制作される時に気をつけていらつしやることありますか？

K そうですね、作る事に慣れてくると、ボタンをいくつか置いた時にたまにですが「あ、こんな出来上がりになるのでは？」と完成の想像が出来るようになったのです。それがなんだか「ちがうのでは??？」と思う時があるのです。

「作り手が想像出来る作品を作りたいのか??？」と自問自答すると、自身でも想像出来ない作品を生み出したいと思っています。その方がドキドキするでしょう。

Y どういうことですか??

K (笑)そうですよ、わかりにくいですがね。うまく言えないけれど、例えば自分が愛情を込めて、楽しみながら、ハッピーな気持ちで、でも本当に作れるのかの不安も苦しみも感じながら作ったものは、その作品からは楽しい気持ちや幸せな気持ちエネルギーみたいなのが感じて頂けると思うのです。

見てくださるお相手に伝わるというか、伝わって欲しいと。そういうことを信じたいし、大切にしたいです。

Y 作り手の感情って大切ですよ。きつと作品に感情が乗るんですよ。

すごくよくわかります。

K 作品を作る時にはいつもボタンと語り合いながら作っているんですよ。

「あなたたちはどんな風にして使われるのかなあ??？」とかね。

ちょっと、おかしい人と思われちゃうかも知れませんが(笑)

スタイリスト時代の経験はとて貴重ですが…

Y 片山さんはスタイリストとしてお仕事もされていたとお伺いしましたが、そのスタイリストとしての経験がいまの作品作りに活かされていることありますか？

K はい、40年近くスタイリストをしていましたので色々な経験をさせて頂きました。海外ロケや色々な方々とも一緒にさせて頂いた経験はとて貴重だと思っています。

スタイリストの時はアシスタントの人に「今からする事の次の行動！を考えて行動してね。」と言っていました。制作していく上では全く逆の思考で、次の次のことを考えて作品作りをしていると、面白くななくなっちゃう気がするんです。計算上では想像つかない何かを求めているのでしょうか。

スタイリストの時と発想を逆にしないと面白いものが作れない。って言うことを、ここ最近気がつきました(笑)

既成概念がないのですよ。自分の力量は関係なく、「こんなものを作りたい！」という思いだけがあるのです。

「よくこんなものが作れたね！」と思うような発想の豊かな作品を作ってくるのです。そんな生徒たちを指導させてもらった7年間があったから、既成概念というものがいかにクリエイティブを邪魔するかということ、私が教えてもらいました。

奇想天外な方法で生徒たちが作ってくるものに「お見事！」と思わせてもらった。そんな経験から今もできる



最後の最後のボタン1個をつけ終わるまでいつも不安でいたい

7

Y って事は、新しい片山さんがまた誕生するかも知れませんか！

スタイリストというお仕事からコスチュームジュエリーの制作活動をされるようになったきっかけはなんだったんですか？

K スタイリストをしている中で、針と糸で何かを縫い付けて作るってことはしていたのですが、ある日、ヘアメイクの雑誌撮影の時にそれに使用するための、コスチュームジュエリーを探したけれども、なかなか見つけれなくて、その時に男性用シャツの台襟の部分を取り取って、持っていたボタンを襟の部分に縫い付けて、コスチュームジュエリーを自分で作りました。それが今の作品づくりの原点です。それが意外にも好評で、制作して欲しい

と頼まれるようになったのです。それがきっかけになりますね。

Y 襟の形の作品は今もありますよね。わたしも持っています。

K 当時の物はあれほど手は混んでいなかったですけどね(笑)

スキルが上がることで小賢しくなっている自分

Y きっかけはやはりスタイリストのお仕事の現場からだったのですね。なんだかかっこいい！

その後制作を続けていかれたという事ですが、始めはどんな感じだったんですか？

K 初めはとにかく勢いで作っていました。

楽しい、楽しいだけで作っていた。出来上がったら「わー！」ってただただ嬉しかったですね。でも、経験を積んだら積むだけ楽しいだけ、勢いだけで作ることができなくなりまして。スキルは当然上がってくるけれども、スキルが上がる

ことで小賢しくなっている自分もいるのですね。今までスキルがなかったから、「どうしよう」と、努力して考えて新しい方法とか、想像できなかったようなものを持つてきたりしてきたのに、スキルが上がったから作っている過程で「あ、こうするとかつこよく見えるよな」と、考えてしまうのです。そんな風に考えること自体がとても嫌で、最後の最後のボタン1個をつけ終わるまでいつも不安でいたいと思うようになりました。

Y 片山さんは今もお、制作している時は常にチャレンジされていると言う感じなのですね。

では、片山さんとボタンとの出会いにはどんなストーリーがあるのですか？

K スタイリストをしていた時、アパレルメーカーさんのお打合せの時、山積みになっているボタンの見本帳があったのです。その見本帳をどうするのですか？と聞くと「新作の見本帳が来たので捨てます」と、言われるのです。それならもらって帰ってきて、家でボタンを一つ一つ外してそれを同じグループに分けて瓶の中に入れていきました。それが始まりですね。

そういうえば、子供の時に母が服を処分する時にボタンを外して取っていたものを、缶に入れておままごとに使って遊んだりもしていました。

Y 片山さんとボタンの出会いはとっても素敵ですね。

捨てられそうになっていたボタンが今こんな素敵な作品になっているんですね。片山さんはどんなボタンが好きなんですか？

K 特にヴィンテージボタンだけが好きという訳ではなく、お店の奥や工場の倉庫に忘れられていたようなボタンや、もう用済みだと言われているような存在のボタン達が愛おしく大好きです。今はボタン屋さんもどんどん減ってきて、



お店を閉められる前にご連絡をいただき、残っているボタンを譲っていただいたり、そんな時に埃をかぶつておいてあるボタンに

「もう一度光のあたる所に行きましょう」と声をかけてしまいます。

100年前の日本は着物でしたがヨーロッパは既に洋装でボタンの歴史が日本と違います。

ヨーロッパのボタン達もエレガントで、細工も素材も今では作れないボタン達が魅力的です。

でも昔のボタンってとても貴重で高価なんです。

だから昔はプレゼントは何が欲しい？と聞かれたら素敵なお洋服だったり、花束だったので、今は「ボタン！」と、答えています(笑)



その他には針や糸、ペンチも欲しいですね。

Y ペンチですか？

K 針を生地から引き抜く時になかなか抜けないので、ペンチで引つ張り出しているんです。

それに針は一番細い極細のもので、1作品仕上げるのに、何本もダメにします。

一番細い針だったら、0.1〜0.2mm上にあげたいな、と思った時などに糸を切らなくても、生地に対して直角に針を抜くと生地にダメージを与えることなく、ボタンを外すことができます。

自分なりの拘りが色々増えて来ています。

Y 0.1〜0.2mmですか！すごい。

片山さんは作品を作られる時にどんなところからアイデアが生まれますか？

K 私はアクセサリーを作っているので、アクセサリーは見えないようにしています。

アクセサリーを見て「素敵だな」と思うとその印象が残ってしまうから。

照明や建物など全く違う分野のものデザイン等興味があります。淀屋橋の駅の上の照明は一部分ですがとても

素敵なデザインで大好きです。

それと自然が好きです。市内が主な行動範囲なので風の音や雨、山の木々や花々はとても心落ちつきますね。

でもやっぱり、ボタンと会話をしながら作っているので、一つ一つのボタンからアイデアが生まれます。

ボタンをたくさん並べてみると、ボタンから近づいてきてくれます。

中にはとっても頑固なボタンもあって、

なかなか近づいてきてくれない。もしかしたら一生使わせてくれないものもあるかも知れませんがね。

Y 今、片山さんの制作されている姿を想像して、単純に「幸せそう」って言葉が浮かびました。そして羨ましいです。

最後にハンドクラフトをしている方々に向けて何かメッセージをお願いします。

K そんなおこがましいこと…

自分を信じて作り続けていかないと作れないだろうと思います。

私だってすごく不安になるけれど、作り続ける事がとても大切で、スキルアップする努力はずっと持ち続けなければいけないと思います。

スキルがあるからこそできるという事が必ずあります。でもスキルを表に出すと一歩間違うとその作品は下品になってしまうとも思っています。

スキルは有って当たり前。そしてやはり、めんどくさいことを避けて通って欲しくないなど。「も、いいかこれで」「これぐらい」と思って作った作品は見る人が見ると分かります。

自分が納得するまで作って欲しい。また、褒めてもらおうとか思って作るのではなくて、自分が本当に作りたいと思うものを作り続けて欲しいと思います。

対談を終えて…

今回は私の大好きでそして尊敬する

コスチュームジュエリークリエイターの片山優子さんと念願の時間を持たせていただくことができました。

実はこの日はとにかく話が弾んで、3時間

以上もお話を聞かせていただいたのですが、その中から抜粋して「山岡まさえのこの人に会いたい」の記念すべき第二回としてご紹介させていただきます。

ボタンといえば片山優子、片山優子といえばボタン。そんな風に言われるくらいその作品は世界中で注目されている方

なのですが、そのことをお話しした時に「そんな風に言っていただけのこととはとてもうれいのですが、そうなりたいたい、そう言って欲しいと思ったことは一度もありませんでした」

と、笑顔で話されていたのが印象的でした。そして、一番心に残ったのは「ボタンに話しかけながら製作していく」と言われていたこと。

そして、ボタンの話をされる時の片山さんのなんととも言えない幸福感の笑顔。ボタンを触られる手がとっても優しいのです。

まるで自分の子供を扱うような感じでした。

お会いしてお話を聞いて、益々ファンになりました。片山さんの作品はとても

人気があつて、コレクターの方々もたくさんいらつしゃるので、なかなか入手しにくい

のですが、出会いがあれば譲っていただきたいなと思つています。その時が楽しみですよ。



Christmas



2018年12月7日、JGAの第6回目のクリスマスパーティーが開催されました。

2回目の東京開催で、東京駅降りてすぐの、シャングリ・ラ ホテル 東京で行われました。

お席は全員抽選。ドキドキしながらお席についていただきました。

そして、お席には協賛いただいたプレゼントが置かれています。皆さんお席につかれて、プレゼントをみられたり、名刺交換したり、お写真を撮られたり。

パーティーがはじまり、理事の入場です。

なぜか、秘書のちか先生にエスコートされて登場。

理事の挨拶、乾杯と進み、楽しい歓談とともにお食事がスタートいたしました。

皆さんのお化粧が綺麗なうちに、と理事が各テーブルをまわり、テーブルごとに記念撮影。そして理事が各テーブルへ突撃インタビュー。

お食事がお肉に進むころには、JGAクイズ!!テーブルごとに話し合ってください、答えをだしていただく3択クイズです!

優勝テーブルはなんと、全問正解!
イニシャルシリコンのモルドが全員に送られました。



JGAクイズ! チャレンジしてみてください^_^。

1.理事の生年月日はいつでしょうか?

- ①1968年7月28日(現在50歳)
- ②1960年7月28日(現在58歳)
- ③1965年7月28日(現在53歳)

2.JGAの設立記念日

- ①2015年7月17日
- ②2012年9月20日
- ③2013年02月26日

3.スワロフスキーは今年は何周年でしょう。

- ①123年
- ②111年
- ③100年

4.11月末で認定講師の番号は何番でしょう。

- ①8069
- ②8104
- ③8121

5.JGAの本部は、淀屋橋駅の京阪何番出口でしょうか?

- ①10番出口
- ②12番出口
- ③7番出口

6.JGA本部は大阪市何区でしょうか?

- ①北区
- ②中央区
- ③淀川区

7.スワロフスキークリスタルの上の面をなんとというか

- ①コルセット
- ②ファセット
- ③サンセット

8.ユザワヤさんのシンボルマークに使われている動物はなんでしょう。

- ①ぶた
- ②おおかみ
- ③ひつじ

9.レアなポケモンがでてくるユザワヤの店舗はどれでしょうか。

- ①銀座店
- ②蒲田店
- ③吉祥寺店

10.今回wGlueColorBookletが発売されました。

混色の7色の中で使わない色は何色でしょうか。

- ①サン
- ②シトリン
- ③ライトシャム

11.PP24(ビービーにじゅうよん)の直径は?

- ①約1.7mm
- ②2.5mm
- ③約3.2mm

12.クリスマスツリーにかざられているボールの由来は?

- ①太陽
- ②りんご
- ③いちご

13.サンタさんの笑い声は次のうちどれでしょう。

- ①A HA HA(あっはっは)
- ②HE HE HE(へっへっへ)
- ③HO HO HO(ほっほっほ)

party 2018

そして、1月に出版がきまった理事の本の特別先々行予約がパーティー会場限定で行われましたよー。
たくさんのご注文いただき、理事もさらにやる気に!!

今年のホビコレクションは、残念ながら全種類集めた該当者はなし!
そうなんだーとがっかりしたものの、なんと!!会場全員での争奪戦へ!
見事お一人の手に!!
とてもラッキーなお財布だそうなので大事にしてくださいね!!

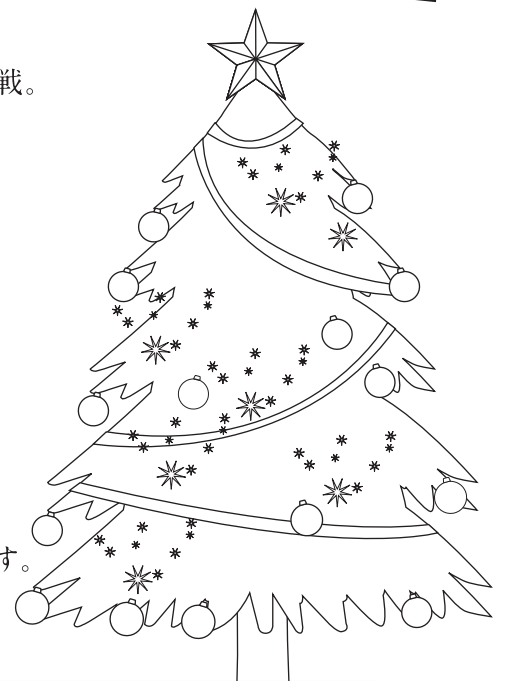


そのあとさらに、バキュームと山夢Tシャツがあたるスペシャルプレゼント争奪戦。
ここでは、同じテーブルの皆さんとじゃんけん。
勝ち残った方だけが、前へ。
そこで再び各テーブルの勝者同士でじゃんけん。

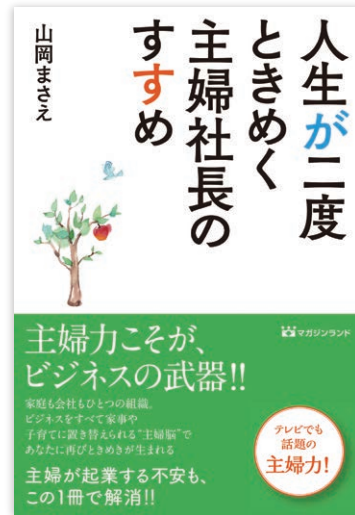
あっという間の2時間でしたが、お開きの時間に。
本部保田が最後の挨拶をさせていただき、みんなで記念撮影に。
大人数で、中腰の姿勢をしてくださった先生方、ありがとうございました。

来年は、大阪開催です!
ぜひぜひ、ご参加ください!!

たくさんのご協賛をいただきました企業様、先生方、改めて御礼申し上げます。
ありがとうございました。



Must read books!



新刊トークイベント開催! 全国キャラバン開始!

2月9日(土)「枚方T-SITE」にて、山岡理事の出版本イベント第一弾として、人生が二度とときめく主婦社長のすすめ：新刊トークイベント！が開催されました。

理事は緊張気味?・・・と思っておりましたが、お集まりいただいた皆様の熱気と、ナビゲーターをとめていただいたいます黒川様のお人柄のおかげで、いつもの理事・・・いや、それ以上のパワーを発揮!

ワークショップとトークショーを通じて、本にしたためた思いや、言葉で伝えたいことを余すところなく皆様へお話しされていたのが印象的でした。

ワークショップでは、ご参加された皆様にとつては自分自身と向き合う時間となり、新鮮な発見があったのではないのでしょうか?

トークショーは理事と黒川様の絶妙な掛け合いで進み、時間も忘れてしまうほどでした。そんな中、皆様のおかげで第二弾の大阪でのイベントは大盛況の内に無事に終了いたしました。

この熱い気持ちを保ちながら、続く全国各地で開催予定のイベントに理事は臨まれます。

皆様のお近くで開催されます際は、是非応援をよろしくお願ひいたします!



Recipe

ダブルハートペンダントトップ



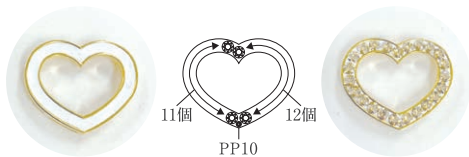
配置図

ゴールドカラー

内側

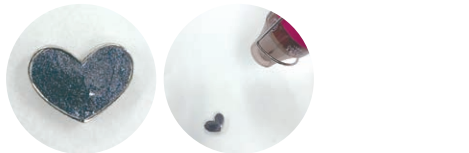


外側



ロジウムカラー

内側



外側



ゴールドカラー 材料

スワロフスキー®・クリスタル — クリスタル #1088 PP18、#1028 PP10 各10個程度
クリスタル AB #1088 PP18、#1028 PP10 各10個程度
クリスタルゴールドデンシャドウ #1088 PP24 23個程度
#1088 PP18、#1028 PP10 各10個程度
wGlue® — A0.52g/B0.52g(内側:A0.25g B0.25g/外側:A0.27g B0.27g)

①使い捨て手袋を着用し、グルーをスケールではかり、AとBを3～4分間しっかり混ぜましょう。

②①のグルーをベースにセッティングしましょう。

ベースの深さよりやや低めにセッティングします。

(グルーの量が多い場合は、つまようじなどを使って量を調整しましょう。)

【参考使用量】

ハート内側 A0.25g+B0.25g 全量0.5g

ハート外側 A0.27g+B0.27g 全量0.54g

③チャトン置いていきます。(配置図参照)

・ハート内側

クリスタル、クリスタル AB、クリスタルゴールドデンシャドウ

(#1088 PP18、#1028 PP10 各色・各サイズ10個程度)

縁に沿って一周ランダムに配置します。色の配色バランスを考えながら、中もランダムに埋めていきます。

・ハート外側

クリスタルゴールドデンシャドウPP24で埋めこんでいきます。

ハートの先端部分に隙間があればPP10を1個置きます。

(#1088 PP24 23個程度、#1028 PP10 1個)

④全体のバランスをまち針で微調整し、チャトンをやさしく上からおさえ、形を整えます。
24時間硬化後、アルコール入りウェットティッシュで仕上げ磨きをして完成です。

ロジウムカラー 材料

スワロフスキー®・クリスタル — クリスタルライトクローム #1088 PP24 22～23個程度
wGlue® — A0.27g/B0.27g
wGlue Pro — A0.20g/B0.20g

①使い捨て手袋を着用し、グルーをスケールではかり、AとBを3～4分間しっかり混ぜましょう。

②①のグルーをベースにセッティングしましょう。

ハートの外側は、ベースの深さよりやや低めにセッティングします。

(グルーの量が多い場合は、つまようじなどを使って量を調整しましょう。)

ハートの内側は、ほんの少し中央がふっくらする程度にセッティングします。

【参考使用量】

ハート内側 wGlue Pro A0.20g+B0.20g 全量0.4g

ハート外側 wGlue A0.27g+B0.27g 全量0.54g

③チャトン置いていきます。(配置図参照)

・ハート外側

クリスタルライトクローム(#1088 PP24 22～23個程度)を1周配置します。

※ハートの内側は、wGlue Proのみで仕上げます。wGlue Proをセッティング後、20～30cm程度離れたところから、エンボスヒーターを5秒程度あててなじませます。

④全体のバランスをまち針で微調整し、チャトンをやさしく上からおさえ、形を整えます。
24時間硬化後、アルコール入りウェットティッシュで仕上げ磨きをして完成です。

Column



戸田美紀

Miki Toda

文章勉強歴、宇宙勉強歴40年。
ブックライター、自分メディア構築コンサルタント
として活動しながら、宇宙の法則、スピリ
チュアルについても発信している。



Blog「自分メディア 時々 宇宙」
<https://ameblo.jp/miki-coco/>



facebook
<https://www.facebook.com/miki.toda>

ハンドメイドを応援してくる惑星があるって、 ご存知ですか？

私はふだんブログを書きながら、出版を含めた自分メディアを育てたい人の応援をしつつ、大好きな宇宙のこともSNSで発信しています。私の文章好き、宇宙好きは、40年もの。子どもの頃から空を見上げ、星座のことを勉強してノートにホロスコープを描き、惑星の動きに合わせてつつ生活をしている宇宙オタクです。今ではブログにも、このオタクっぷりをさらけ出し、それが意外と喜んでいただけることがわかり、調子に乗って記事にする日々を送っています。

さて、タイトルにも書いた「ハンドメイドを応援してくれる惑星」ですが、その前に、みなさん惑星と聞いて、どんなイメージを持つておられるでしょうか。地球の周囲には、10個の天体がぐるぐる回っています。それぞれの惑星にはきちんと意味があつて、私たちは常にその惑星からメッセージを受け取っています。気づく、気づかないに関わらず、です。メッセージの意味を知つて、宇宙のリズムに合わせる事ができれば、ずいぶん生きやすくなると思いませんか？宇宙を意識するかしないかで、作品作りにも大きく関わつてくると思つたので、少しでも宇宙のことをグルーデコ協会のみなさまにも知つていただきたくて、コラムを書かせていただくことにしました。

女性は常に惑星の影響を受けています。

惑星の中で身近なものと言えば、月でしょうか。月は地球に近いので、かなり人は影響を受けています。とくに女性はホルモンの周期とも合っているのです。新月、満月などには体調に出る人も多いですね。もう一つ、女性に大切なのが金星、「美」を司る惑星です。金星が地球に近づく時や、逆行する時は、自身の美容を見直すのもいいですね。あと、ハンドメイドの作品を作っている人にとっては、作品の「美」も意識したいところ。金星を味方にして、素晴らしい作品を生み出せるかも？

2019年は、ハンドメイド作家さんにとって、かなり素晴らしい、良い1年になるはずですよ。今年には「ジュビターイヤー」と言つて、10個の惑星の中で、最大のラッキースターと呼ばれている木星が、年末まで宇宙の中の自分のお家に帰るんです（詳しくはブログを読んでね）。お家に帰るということは、自分自身の最大のパワーを発揮するということが。木星のメッセージは、「発展」と「拡大」。今年はこの2つが約束されている年なんです。これはハンドメイド作家さんに限つてはいないんですが、とくにモノを生み出す人にとっては、良い年になるでしょう。

なぜそう言えるかというと、実は昨年はハンドメイド作家さんにとっては厳しい、苦勞の1年だったはずなんです。昨年冥王星、海王星という惑星が長く逆行していました。あまり聞き慣れない、馴染みのない惑星だと思つて、これはクリエイターにとっては精神的に辛いことで、望むデザインが思い浮かばない、作品を作る気が起こらない、作つても何だか気に食わない、売れるような気もしない、そんな風に感じる人も多かったんじゃないでしょうか。それは全て惑星のせいです！迷いを生み出す惑星だからです。2019年に入り、その2つの惑星が順行に戻り、本来のパワーを発揮

してくれています。プラス、ジュビターイヤーですから、今年頑張らなければ、いつ頑張るの！という時。ぜひ宇宙のような大きな心で、作品作りを進めてください。

2019年は、目標が高いほどいい！

2019年は拡大と発展の年ですから、これまで以上に大きな目標を掲げて、ハンドメイド作家として飛躍してください。夢も目標も、でかく宣言しちゃってくださいね！

- ・作品を〇〇個以上作つて、SNSで発信します
- ・〇〇百貨店のイベントブースに出店します
- ・長く愛されるグルーデコデザインを生み出します
- ・毎月〇個以上の作品を作つて、すべてInstagramで完売します
- ・ハンドメイド教室をオープンして、生徒さんが〇〇以上来てくれます

など、自分には少しハードルが高いかな？と感じるくらいのもや目標を設定して、2019年を過ごしてくださいね。大きな目標を設定して、それに向けて具体的な項目を書き出せたら、それは新月の日に改めてノートに書いて読み上げましょう。新月パワーが味方してくれますよ！（毎月の新月のテーマは、ブログを読んでください）

私は長く宇宙を見てきて、総合的に女性のほうが宇宙を味方につけるのが上手だと感じています。それは身体とリンクしていることも挙げられるかもしれませんが、思考も柔軟だし、スピリチュアルの力も高いからかも？惑星のほとんどは目に見えませんが、確かにあります。私たちは宇宙の中の地球に住まわせてもらっています。そんなことを少しでも意識して、作品作りに活かしていただけたら、とても嬉しいです。

Publicity

濃くもなければ薄くもない!自分に似合うナチュラルが学べる

JPMパーソナルメイク 認定講座

いま日本で学べるメイクの殆どが戦後アメリカから入ってきた西洋人向けのメイク。

化粧品会社の広告も西洋人モデルが多くないですか?

骨格から全く違う日本人には、似合わないんです。

JPMパーソナルメイクは日本人の顔立ちや肌を徹底研究して生まれたジャパニーズメイク。

自分に似合うメイクが分かれば使いきれない化粧品も無くなり、流行に振り回されることも0%。

自分の魅力を最大限に引き出す最小限の化粧品も分かり買物のムダからも、顔コンプレックスからも解放されます。

メイクは一度学ぶだけで一生の財産。

一度はきちんと学びましょう。



講座内容や講座情報は
日本パーソナルメイク協会のホームページへ
<https://personal-make.com/make/>



ウィーク・タイズ☆オンラインサロン

オンラインサロンでゆるく繋がりながら
自分メディアを育てつつ、認知度を上げませんか?

『ウィーク・タイズ☆オンラインサロン』で検索!

とだ みき
戸田美紀



ブックライター、自分メディア構築
コンサルタントとして活動しながら、
宇宙の法則、スピリチュアル
についても発信している。

オンラインサロンの概要

facebookの秘密のグループを使い、『スピリチュアルグループ』と『自分メディアグループ』とに分け、それぞれに必要な内容を発信していきます。メンバーは質問し放題!

オンラインサロン価格設定 ※月額課金

- 各グループ5,000円(税別)
- 両方のグループに入会される方は、特別価格8,000円(税別)
- お支払いは「振込払い」又は「クレジットカード払い」

<https://ameblo.jp/miki-coco>



JGA Paperに広告が掲載できるようになりました。

掲載料・サイズ案内

1/2サイズ(210mm×120mm)	¥30,000	210mm×120mm	
1/4サイズ(105mm×120mm)	¥15,000	105mm×60mm	105mm × 120mm
1/8サイズ(105mm×60mm)	¥8,000	105mm×60mm	

広告掲載に関するお問合せはメールにて承っております。
メールの件名を「JGA Paper広告掲載について」とご記入の上、
こちらへご連絡ください。

お問合せ先 jga@wglue.co.jp

個人デザインから企業デザインまで。



<https://7design.work>



グラフィックデザイン・WEBデザイン
チラシ・名刺・WEBサイト作成・ブログカスタマイズ等承ります。
050-5328-6091 / mail@7design.work

Schedule 2019

3月26日(火)	スワロフスキー・ジャパン(株)トレンドセミナー 午前・午後(大阪)
3月29日(金)	スワロフスキー・ジャパン(株)トレンドセミナー 午前・午後(東京)
7月予定	スキルアップレッスン(大阪)
12月	クリスマスパーティー(大阪)

※詳しい内容につきましては、メールマガジンにて随時お知らせいたします。
(届いていない講師の方は、受信設定をご確認ください。)

Sae's

天声人語

幸せというものは 常にある物ではなく、 自分で見つけるもの

少し時が経ってしまいましたが、女優の樹木希林さんが
去年の9月に永眠されました。
私の憧れの存在だったので最初聞いたときはちょっと
ショックで、家族でもないのにしばらくは喪失感に
襲われました。

その樹木さんが生前お話しされていた事でとても心に
残っている言葉をご紹介します。と思います。

「幸せというものは常にある物ではなく、自分で
見つけるもの」

なんでもない日常や、とるに足らないように思える
人生も、面白がってみるとそこに、幸せが見つけられる
ような気がするんです。

樹木さんの肩の力を
抜いたそれでいて
凛としている

生き方はとても
かっこいい。

他人の価値観に
振り回されない
生き方。そんな風
にもおっしゃって
いました。

安らかにお眠りください。



編集後記

◆「こんにちは認定講師です」の中本先生。
たくさんハンドワークを極めてきたからその世界観。
ぜひ機会があれば実際の作品をみてみてくださいね。

◆理事のインタビューコーナーができました。
今回は、クリエイターとして活躍されている片山優子さん。
クリエイターを目指す方にはとても参考になる話ではない
でしょうか。今後はいろいろな方に「登場いただく予定です」

◆アワード最終審査！
前号でお伝えした二次審査からの進化を感じていただけ
たでしょうか。今年度も、テーマはあなたが決める！
「作る。進化する。」ぜひ、チャレンジしてみてください。

◆戸田美紀先生のコラム。こんな惑星があるんですね。
今年もクリエイターにとってはとってもいい年のように!!
いろいろな作品が生まれるのが楽しみです。

◆理事の「人生が二度ときめく主婦社長のすすめ」が出版
されました。ぜひみなさんも一度ときめいてくださいね。

◆レシピは人気のダブルハートペンダント！
ぜひコピーしてレッスンなどにお使いください。

◆今回よ「JGA Paper」に広告が掲載できるようになりました。

JGAの先生方も掲載できますので、ご自身のベースや
レッスン、会社など宣伝したいものがある方はぜひ!!

JGA Paper

2019年春夏 Vol.12

発行：一般社団法人日本グルーデコ協会

発行者：山岡まさえ

住所：〒541-0041

大阪府中央区北浜三丁目6番13号

T E L : 06-4707-0888

E-mail : jga@wglue.co.jp

U R L : http://www.wglue.co.jp/